

クロレラの抗疲労作用および免疫調節作用に関する

研究成果が学術誌に掲載されました。

Biochemical and Biophysical Research Communications に掲載

〔研究目的〕

我々はこれまで遊泳によってストレスを負荷したマウスに対するクロレラの抗疲労作用および免疫調節作用を学会にて報告してきましたが、同時にその研究成果を論文にまとめ、学術誌「Biochemical and Biophysical Research Communications」に投稿しておりましたところ、この度、掲載が決定いたしましたのでここにご報告いたします。

研究内容に関しましては、上記学会発表の資料（[日本食品免疫学会第4回学術大会、第5回学術大会](#)）及び（<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/21095179>）をご参照下さい。

《詳細》

雑誌： Biochemical and Biophysical Research Communications
Vol.404 第1号（2011）pp.121-126

タイトル： Influence of Chlorella powder intake during swimming stress in mice

著者： 溝口 亨¹、荒川ゆかり¹、藤島雅基¹、小林みちえ²

所属： ¹株式会社サン・クロレラ、²株式会社DNAチップ研究所

この情報は、学術雑誌や学会において発表された内容の掲載であり、商品の販売促進を目的とするものではありません。